

## 平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	2-2-3	事業名	ものづくり産業活性化支援事業				
担当	経済局産業振興部ものづくり支援担当課 神田 TEL211-2362						
全体計画							
事業内容	市内ものづくり産業(製造業)の競争力及び成長性を高め、本市経済の活性化に寄与することを目的として、市内中小製造業者又は企業グループ、組合等に対して、以下の経費を補助する(補助率2分の1)。 「新製品開発・既製品改良に関する事業」 新製品・新技術の研究開発又は既製品の改良による高付加価値化に要する経費 「ネットワーク構築・推進に関する事業」 他の企業、研究機関及び支援機関等との新たなネットワークの構築又は既存のネットワークの推進を図るための、研修・講習会、研究会の開催、展示会への共同出展等に要する経費 「人材育成・確保に関する事業」 人材の育成及び確保を図るための、先進的企業等への従業員派遣、外部専門家等による社内研修の開催又は先進的企業等に従事経験のある技術者の新規雇用に要する経費		<年度別の事業内容>				
			19年度... 「新製品開発・既製品改良に関する事業」4件、「ネットワーク構築・推進に関する事業」2件、「人材育成・確保に関する事業」2件の計10件の補助を計画。 20年度... 19年度からの新規事業であるが、企業等からの申請・問い合わせが予想以上にあったため、製造業支援の重要性も考慮して予算を増額し、補助件数を ~ の事業につき各1件程度ずつ増加して実施予定。 21、22年度... 20年度と同様の内容で実施予定。				
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(予算)				
	「新製品開発・既製品改良に関する事業」 7件の申請があり、外部審査会での審査結果を踏まえて6件(「チップ自動整列機の開発」、「雪氷利用輸送システムの開発」、「PP(ポリプロピレン)製パッケージの開発」、「粗製グリセリンを主燃料とする温水ボイラーの開発」、「ユニバーサルソファの開発」、「フェリー乗船中でもデータ通信が可能な保冷車の輸送品質管理システム」)の事業を採択し、実施した。 「ネットワーク構築・推進に関する事業」 2件の事業を実施した。 「人材育成・確保に関する事業」 2件の事業を実施した。		企業等からの申請・問い合わせが予想以上にあったため、製造業支援の重要性も考慮して予算を増額し、 ~ の事業について各1件ずつ補助目標件数を増加する。 「新製品開発・既製品改良に関する事業」 5件の事業を実施予定。 「ネットワーク構築・推進に関する事業」 3件の事業を実施予定。 「人材育成・確保に関する事業」 3件の事業を実施予定。 なお、課の名称変更により、所管課が工業振興担当課からものづくり支援担当課に変更。				
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
「新製品開発・既製品改良」補助件数(累計)		-	6件	11件	16件	21件	16件
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加							
企業等との連携、協働							
[資金協力]本事業の補助により、外需を取り込める自社製品の開発・高付加価値化、経営資源を相互に補完するネットワークの構築・推進及び人材の育成・確保に向けた取り組みが促進される。							
[人材協力]外部審査会において、事業の改善点等についての助言も実施している。							
[情報協力]事業の公募や採択結果について、ホームページでの周知のほか、各種会合での説明を行い、情報の共有に努めている。							
[その他の協力]							
市民・企業等が参加しやすい環境づくり							
既製品の改良や企業間ネットワークの構築段階での取り組み、社内研修の開催についても補助対象とすることで、企業が利用しやすい事業となっている。事業の募集に当たっては、各種団体のホームページやメールマガジン等も活用し、広く企業に周知している。							

## 平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	2-2-3		事業名	ものづくり産業活性化支援事業			
評価(成果)			課題				
<p>本事業により、新たな事業にチャレンジする市内製造業者に対する支援を行うことで、外需を取り込める自社製品の開発・高付加価値化、経営資源を相互に補完するネットワークの構築・推進及び人材の育成・確保に向けた取り組みが促進される。</p> <p>平成19年度は「新製品開発・既製品改良に関する事業」を当初の目標件数の4件を上回る6件実施することができ、本市の経済活性化に重要な役割を持つ製造業の競争力強化と成長性向上に寄与した。</p>			<p>市内製造業者の新たな事業へのチャレンジを促進し、市内経済を活性化させるため、事業の募集及び実施事業の成果について、より効果的なPRが必要である。</p> <p>また、市内製造業者においては、営業力・販売力の強化が課題となっており、事業成果がビジネスとして成功するまでの体系的な支援が必要である。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>平成19年度からの新規事業であるが、企業等からの申請・問い合わせが予想以上であったため、製造業支援の重要性も考慮し、採択件数の増加について検討していく。</p> <p>また、より効果の高い事業となるように補助対象事業の拡充についても検討していく。</p>							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	10,500	11,000	10,500	11,000	43,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	10,500	11,000	10,500	11,000	43,000
予算	事業費	10,500	13,500	-	-	24,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0
		市債	0	0			0
		その他	0	0			0
		一般財源	10,500	13,500			24,000
実績	事業費	8,177	-	-	-	8,177	
	財源内訳	国・道支出金	0				0
		市債	0				0
		その他	0				0
		一般財源	8,177				8,177
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				50.4%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]予算額いっぱいの事業を採択したが、実施段階で経費節減に努め当初予算に満たなかった事業もあり、決算額が予算額を下回った。							
[20年度]製造業支援の重要性を考慮し、当初計画よりも規模を拡大して事業を実施する。							